

女性力で滋賀の経済・地域を元気に!

CARAT 滋賀 2015

働く女性は滋賀のチカラ

発展のキーワードは

女性力発揮

女性の力が企業と地域を強くする!

巻頭対談



女性目線の展開は必須、
カギを握るのはトップと上司

株式会社リクルートエグゼクティブエージェント

森本千賀子さん

滋賀県知事

三日月大造

県内の実践事例

女性力発揮で進化する企業を研究!

滋賀の 独創企業5社

滋賀ダイハツ販売(株)/永楽屋(株)/東近江市商工会/
デジタルソリューション(株)/カラージュップPolka-Dot



女性の方で
伸びる企業



女性の起業や活躍を
支援する組織



起業支援で
羽ばたく女性

シガノ
ワカテ
キギョウ
ジョシ

わたしのチャレンジ

(株)エフエム・クラック

三峰教代さん 佐々木由珠さん





森本千賀子さん

株式会社リクルートエグゼクティブエージェント

巻頭
対談

三日月大造

滋賀県知事

株式会社
リクルートエグゼクティブエージェント
エグゼクティブコンサルタント
1970年生まれ。滋賀県高島市出身。
もりももち か こ
森本千賀子さん

93年リクルート人材センター(現リクルートキャリア)に入社。リクルーティングアドバイザーとして、大手からベンチャーまで幅広い企業に対する人材戦略コンサルティング、採用サポート全般を手がけ、人材コーディネイトに携わる。2児の母。著書は『女性管理職のFAQ』、『後悔しない社会人一年目の働き方』等



企業における女性活躍のカギはトップの本気度と女性自身のモチベーションアップ

企業と人材のマッチングを行うプロとして実績を上げてきた森本千賀子さん。仕事を通じて企業経営者やスキルアップを目指す人材と数多く出会ってきた中で、女性の活躍に対する企業の姿勢や女性自身の意識の変化をどのように感じているかについて語っていただきました。

女性活躍に追い風?いや突風が吹いている!

三日月 企業と人材をつなぐ仕事とはどのようなものですか?

森本さん(以下、森本) 20年ほど前ですと、終身雇用がベースにあって一つの会社の中でステップアップしていくことがサクセスストーリーでしたが、現在は、今いる会社の中でキャリアアップしていく以外に、転職することにより、自分の価値を上げようとする人が多いんですね。一方、企業側も海外進出や新しい分野などに挑戦するには、これまでの成功体験を捨てて、新しいビジネスモデルを作っていく必要があるとわかってき

て、新たな人材を求めています。そうした意欲・能力のある人材と、それを求める企業とをマッチングさせるのが人材エージェントと呼ばれる私の仕事です。中でも私は部長クラス以上の経営幹部層を手掛けています。
三日月 企業の人材戦略において、女性に対する意識が変わってきていると感じることはありますか?

森本 強くあります。女性の活躍については、追い風どころか突風が吹いています。国の大きな政策のひとつに「女性の活躍推進」がありますので、そのことから各企業のトップが女性活躍の号令を出している状態です。ただ、具体的にどうしたら…?と相談を受

けることが多いですね。

三日月 いざ女性の活躍を推進しようとしたときに、例えば“社内に役員候補の女性がいない”という場合があり、そこで人材エージェントの出番があると。

森本 でも、本来なら管理職などの立場で活躍されているべき世代である40～50歳代の女性がそもそも少ない。男女雇用機会均等法が施行されて以来、さまざまな取組があって最近やっと女性が活躍するようになってきたんです。ですから、あと10年もすれば、女性の管理職人材ももっと増えてくると思います。

企業の本気と納得が必要

三日月 それぞれの企業の中で女性の活躍を進めていくためには、何が必要だと思われませんか？

森本 まずは企業の本気で女性の力が必要なのだと腹に落としとして施策を実行しようとする気構えが必要だと思います。行政に言われたからとか、ブランディングのためといった一時的なものでなく、女性の活躍の必要性を納得、理解した上で推進していくことですね。

三日月 お客様の半分が女性なら、社員の半分が女性でもおかしくはないですよ。

森本 そうですね。消費者として、家庭の中で購買決定権を持って

いるのは圧倒的に女性が多いですよ。女性の感性をビジネスに取り入れ、展開していくことが企業にとってますます必要になってきます。また、今は女性からの好感度が高くないと支持されないという現実もあります。そうした経営戦略として女性の活躍が重要だということトップ自身が認識されている企業は、男性ばかりの組織とは違う目線の商品サービスを提供することができ、業績にもつながっていると思いますね。

三日月 様々な環境変化やお客様の多様なニーズに効果的に対応するためには、組織の内部に多様な人材が必要です。例えば行政では、防災や災害時の避難所の運営などで、女性はもちろんのこと高齢者や障害を持つ方などの多様な視点の必要性を痛感しています。

背中を押してくれる上司が女性の意識を変える

森本 もうひとつは、女性自身の意識を変える必要があると思います。滋賀の女性の活躍に関するデータを見せていただいたのですが、働く女性は増えてきたけれど、女性の管理職の割合は低いですよ。

三日月 はい。産業構造や雇用形態の状況、また、組織の取組や男性の意識など、様々な要因があると思いますが、働く女性に『管理

職になりたいですか』と聞くと、消極的な答えが多いという結果もあります。

森本 女性はどこか遠慮するところがあって、自分からは前へ前へと出ていかないんですよ。「できる」という100%の確信がないと前へ行けない。そのような意識の改革が必要だと思うんです。

三日月 女性の意識の改革には、どのような方法が考えられますか？

森本 やったことがないものへ新しくチャレンジするには時間がかかります。でも、女性は一步踏み出すのは遅いかもかもしれませんが、踏み出してからは粘り強い印象があります。

私は、女性幹部の方に会う機会があると必ず「この立場になるまで頑張ってきた理由は何でしょう」と尋ねるのですが、答えの中で圧倒的に多いのが「自分を引っ張ってくれた上司がいたから」というもの。女性が新しいことに踏み出すのをためらっているときに、背中を押してくれる上司と出会うかどうかは重要で、私もそうでした。当時は、「なんて無茶を言うんだろう」と思いましたが、今になってみると、あそこで背中を押され、勇気を出して一步踏み出したからこそ今があると思っています。だからこそ、勇気を出して一步踏み出してみたら、新しい世界、楽しい世界が見えるんだよ、と言いた



女性は一旦始めたら粘り強い。踏み出す勇気を与える上司と出会えるかが決め手です!



働く場で輝きたいと願う滋賀の女性を後押しします!

いですね。

三日月 不安なところを勇気づけてくれる上司の存在が大きなポイントですね。

自分の成長がモチベーションに

三日月 滋賀の女性たちにメッセージをお願いいたします。

森本 それぞれの女性が持っている感性や能力は、これからますます企業や社会で必要とされてくると思います。自分の価値に自信を持ち、一歩踏み出してチャレンジする勇気を持ってほしいですね。その先には必ず成長ややりがいがありますから。

三日月 森本さんの実感がこもった言葉ですね。

森本 自分の成長を感じることがモチベーションになります。会社で

同じ内容の仕事が続ける場合も、自分の能力をもっといろいろな分野で活かすことにチャレンジして欲しいと思います。

みんなが輝くために

三日月 女性が社会で活躍するには、男性の家事分担が欠かせません。共働きでも、家事、育児、介護など、家庭での役割が女性に偏っている状況なので、男性がもっと家事や育児、介護などに関わっていくべきだと思います。そのためにも、職場において長時間労働を前提とした働き方を見直し、男性が前向きに家事や育児に参画できるようにワーク・ライフ・バランスを進めていくことが大切ですよ。

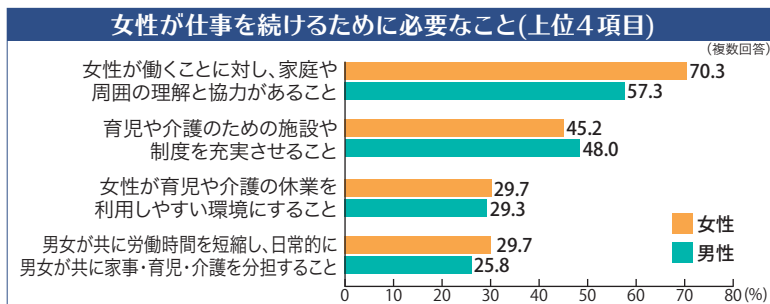
森本 女性自身が「妻の仕事」「母の仕事」と思い込んで一人で

抱えこんでいる部分もあると思いますが、最近は保育所の送り迎えの半数近くがお父さんだったりして、男性の意識も徐々に変わってきたなと思います。男性、女性がそれぞれの能力を活かして、足し算ではなく、掛け算の関係を作れるといいですね。

三日月 それは、家庭内だけでなく近所など地域の繋がりでも同じですね。

森本 本当にそう思います。私自身、子どものことでご近所の方に助けていただいているので、人と人の繋がり、大きな力になると実感しています。自分の能力を活かし、相手も活かし、お互い助け合うことで、より大きな力が発揮できる。そういう関係を広げていくことができればと思います。

三日月 それぞれの違いを認め合い、支え合って、アイデア・能力を出し合う。そこで生まれる力が、人や企業、地域の輝きにつながってくるのだと思います。だからこそ、様々な場面で性別にかかわらず活躍できる環境づくりを着実に進めていきたいです。本日はありがとうございました。



出典：平成26年度男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査(滋賀県)



女性の力で
伸びる企業

●県内企業の実践事例●

女性スタッフが主役の 店舗づくりで顧客満足度UP!



滋賀ダイハツ販売は、全国のダイハツディーラーの顧客満足度調査で、常にランキング上位に入る。その取組が評価され「2013年度日本経営品質賞」を受賞!!



来店予定の方を迎えるボードや紙おむつの設置など、ちょっとした心遣いがグッとハートをつかむ。



お客様のご意見もすぐに反映。お客様と一緒に店舗づくりをしている様子がうかがえる。

滋賀ダイハツ販売 株式会社

滋賀県栗東市大橋4丁目1-5
<http://www.shiga-daihatsu.co.jp/>

従業員数

342人
(男性268人、女性74人)
※平成26年9月1日現在

業種

新車・中古車販売、車検、保険
钣金塗装 等

顧客の7割を女性が占める一方、お客様の満足度が低迷していたことに着目し、女性にとって居心地のよい店舗空間づくりを進めようと「カフェプロジェクト」が発足したのは2005年。県下の販売店から女性スタッフをプロジェクトメンバーとして集め、女性目線のアイデアを出し合った。

プロジェクトでの提案をもとに、待ち時間も過ごしやすい「カフェ」のような雰囲気作りを目指し、ウェルカムボードの設置や紙おむつの無料提供など、きめ細やかなサービスを次々と導入。各店舗での好事例を会社全体で共有することで、各店まちまちだった「待ち時間における満足度」で全店90%以上の評価をいただけるようになった。店舗演出から始まったプロジェクトは、ランチイベ

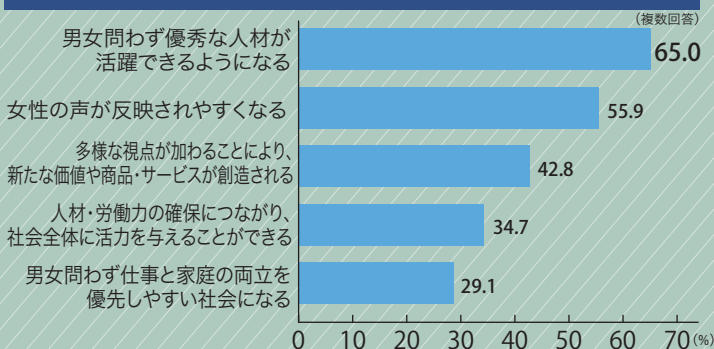
ントや情報誌の発行など多岐にわたり、現在も進化を続けている。

プロジェクトメンバーの嶋原聖子さんは「プロジェクト発足当初は、通常の事務処理業務に加えてカフェプロジェクト業務が増えることになり戸惑いや不安もありました。しかし、店舗づくりという大きな仕事を任せられて、責任感とやりがいが高まって仕事が楽しくなりました。」と語る。

仕事のやりがいが増えたことで、出産後も育休を経て職場に戻ってくる女性が増加。今後はそうした子育て中の女性の目線を取り入れた店舗づくりやイベント企画、果ては車のデザインまで、夢は広がる。

データで見る女性活躍

女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿(上位5項目)



女性の力は

欠かせない戦力!!

女性目線、お客様目線の店舗づくりを進めたことで、お客様アンケートの居心地評価では90%以上の方から良い評価をいただくようになりました。また、女性スタッフのモチベーションも上がり、出産後も育児休業や時短勤務制度を使って働き続ける女性が増えました。今後も女性力を活かせるように全体最適の体制づくりを強化していきます。

取締役 新車本部長 鳥居和浩さん





女性
の力で
伸びる企業

● 県内企業の実践事例 ●

店長の半数が女性。パートからの管理職登用で能力を活かす!



10代の若い女性スタッフも積極的に店舗へ。年配のお客様には孫のように可愛がられ、中年層には話しやすい雰囲気好評。



本社の周辺は古くから仏壇づくりが盛んな職人街。昔から家族が協力して仕事をする風土があったため、女性が働くこともごく自然な流れだったとか。

株式会社
永楽屋

滋賀県彦根市芹中町40
<http://www.eirakuya.com/>

従業員数

63人
(男性25人、女性38人)

業種

仏壇製造・販売、寺院施工

永楽屋で初めて女性店長が誕生したのは昭和62年。「はじめは事務職のパートさんでしたが、そのうちに営業の才覚を表し、正社員登用、そして本店店長にまでなってもらいました。」と語るのは自身も女性管理職として活躍する宮川富子副社長。

「これからは女性の時代」と意気込んだわけではなく、「働いてくれている従業員の持つ能力を最大限に活かす」という企業理念により自然と女性の活躍が浸透していった。店頭でのお客様とのコミュニケーション、製造過程での細やかな感性に能力を発揮する女性が多いという。

しかし、女性従業員が仕事を続けるうえで、急に子どもの体調が悪くなるなど育児との両立の壁に直面することも。そんな時、宮川副社長は「早く迎えに行ってください。」と快く送り出し、「面倒を

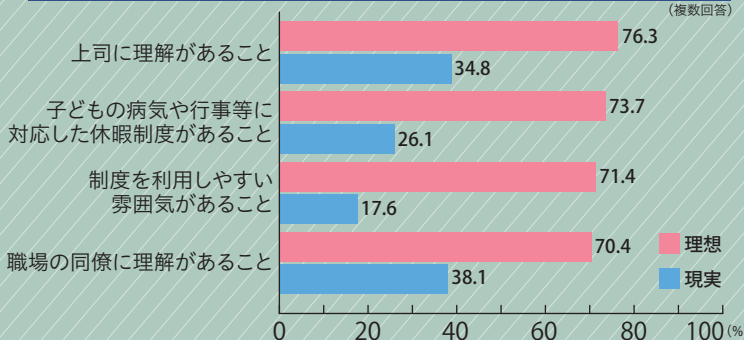
見てくれる人がいないのなら会社に連れてきなさい。」とサポート体制を整えている。自身の経験からも「女性のやる気と能力を会社に留めておけるかどうかは経営者の考え次第。中小企業ならではのやり方がある。職場に迷惑を掛けたと感じた従業員は、働ける時に自分にできる精一杯のことで会社へ恩返ししてくれるので、決してマイナスにはなりません。子どもはすぐに手を離れますから(笑)」と笑顔で女性社員を見守っている。

職場で面倒を見ていた小学生の子どもが、大学生になった今でも職場に遊びに来て、社長と楽しくおしゃべりしている。そんな家族ぐるみの関係性が従業員の能力を最大限に引き出している。女性従業員の活躍が、男女を問わず会社全体に活力を与えている。

データで見る女性活躍

女性が考える子育てと仕事の両立に必要なことの理想と現実(上位4項目)

(複数回答)



出典:平成22年度労働環境等実態調査(滋賀県)

女性の力で良くなりました!!

店頭だけでなく、製造でも女性が活躍しています。お客様をホッとさせるお茶のおもてなしや、仏壇の繊細な装飾は女性ならではの感性を感じます!!これからも頼りにしています!!

本店店長 廣瀬成明さん





女性の起業や活躍を
支援する組織

●地域活性化の実践事例●

地域活性化を担う原石を発掘！ 「女性のための創業塾」



カフェ経営や洋菓子販売、カラーセラピーや行政書士など目指す起業の種類は様々だが、それぞれが店舗運営の体験をできるのが「チャレンジショップ」の魅力。



実際にショップを出せるのが創業塾の特徴です。準備などを通して参加者どうし横の繋がりが強くなり、人脈が広がりました。(参加者のお二人より)

東近江市商会 女性のための創業塾

滋賀県東近江市下中野町431
<http://higashiomishi-shokokai.jp/>

東近江市商工会では、受講生を女性に限定した創業塾「女性のための創業塾」を企画・運営している。高齢化に伴う後継者不足といった地域経済の深刻な課題への対策のひとつとして平成24年度から事業を開始し、スモールビジネスに的を絞った“女性の起業”を応援している。

創業塾では、開業準備や資金管理、店舗経営についての具体的な講義を一日5時間、計5日間受講した後、チャレンジショップで6日～10日間の出店経験を積むことができる。チャレンジショップでは、複数の受講生でコラボレーションして出店することも多いため、店舗運営のシミュレーションができるだけでなく、受講生同士のつながりができ、起業を志す女性同士の人脈が広がるということも創業塾の人気のヒミツだ。

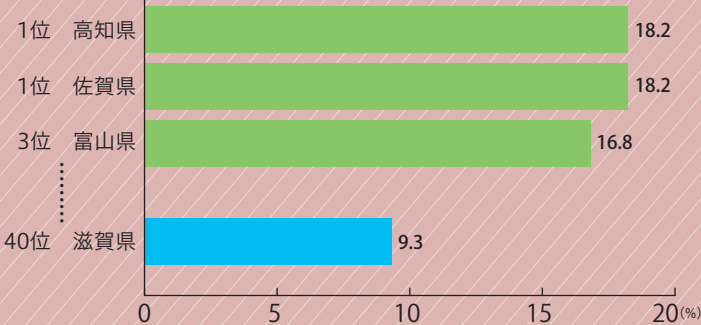
受講生の平均年齢は34歳。平成26年度までの3年

間で80名以上が受講し、キャンセル待ちも出るほど女性からのニーズは多い。創業塾の卒業生で実際に行政書士事務所を起業した榎木美絵さんも「創業塾を受講すると起業を身近に感じることができる。様々なところでこういった講座が開かれることで地域の埋もれた才能が引き出されるのではないか。」と感じている。他にもアロマエステやトリマー、日本茶カフェを起業した卒業生もあり業種は多岐にわたる。

「起業には少なからずリスクが伴う。安易に起業を促し、うまくいわずに借金を抱えてしまうなど、女性を不幸にしてしまっては意味がない。ビジネスとして長く続けて、雇用を創出することが大切。それぞれの夢や目標を“起業”という形で実現し、充実した人生を過さず。そんな人を地域に増やすことで地域を元気にしたい。」と創業塾責任者の澤村課長は地域活性化のキープポイントとして“女性の起業”に期待を込める。

データで見る女性活躍

起業者に占める女性の割合（都道府県別）



出典：平成24年就業構造基本調査（総務省）

女性の
力で

良くなりました!!

過去2年間で15名の卒業生が創業されました！創業塾を受講する皆さんは、地域の人材の宝です。チャレンジショップによって収益を上げることに実践が大切。新たな経営者発掘につながると期待しています。

経営支援課 課長 澤村浩正さん





起業支援で
羽ばたく女性

●県内企業の実践事例●

女性のデザイン力で 滋賀の魅力を発信！



「琵琶湖のヨシ」や「セタシジミ」がデザインのモチーフ。湖東麻のハンカチは額に入れて飾っても。



高島の扇骨を使った扇シリーズ。同じデザインでも色のパターン替えて印象が変わる。



地場産業の織り物工場や職人に直接交渉。滋賀の魅力を発信する一助となるのも楽しみ。

デジタルソリューション(株)
coconocage
ココノカージュ

滋賀県彦根市原町850-91
<http://www.digitalsolution.co.jp/>

従業員数

4人
(男性1人、女性3人)

業種

ポスター、パンフレット、チラシ、
パッケージ、ホームページ等の
企画・デザイン

女性の力と地場産業の掛け算で新たな滋賀の魅力を発信しているのが、地域ブランド「coconocage (ココノカージュ)」だ。

県内の伝統技術と地場産業の感性価値を調査する仕事をしたことがきっかけとなり、その高品質な技術や素材に感動した長束知香子さんと筒井頼子さん。「デザイン力で伝統技術を県内外の人にもっと身近に感じてもらい、滋賀の魅力を伝えたい」という思いから、2013年春に滋賀産の麻・綿を中心に滋賀の自然や文化をモチーフに企画・デザインした柄をプリントしたファッション小物を販売し始めた。

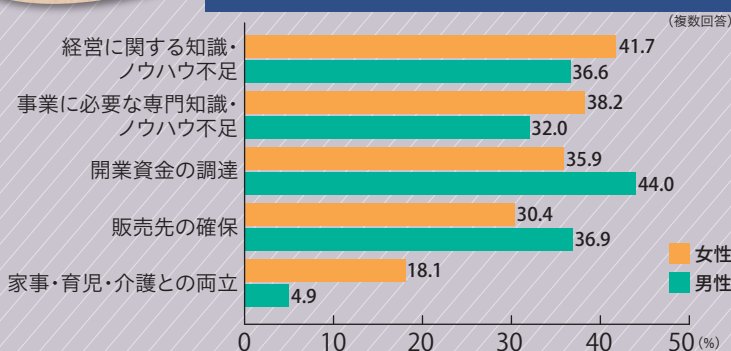
彼女たちが勤務するデジタルソリューション(株)は、パンフレットやポスターなどの印刷物のデザインをする会社であったため、企業内起業という

形をとることに。起業や販売のノウハウを学ぶため、通常の業務をこなしながら東近江市商工会主催の「創業塾」に参加。起業・開店のシミュレーションができたことが大きな収穫となった。そして、何より「何か始めたい、チャレンジしたいと頑張っている女性がこんなにいるんだ」と感じたことが励みとなったという。

「初めてのことはばかりでの戸惑いや遠回り、失敗もたくさん経験した。それらを教訓として、大人女子の日常にパッと花が咲くようなアイテムが出来上がった。まだこのプロジェクトは軌道に乗っているとまでは言えないが、少しでも湖国ならではのデザインや地元素材の良さを感じてほしい」と企画担当の長束さんは語る。2人の女性の行動力が地場産業の希望になるかもしれない。

データで見る女性活躍

男女別の起業時の課題(上位5項目)

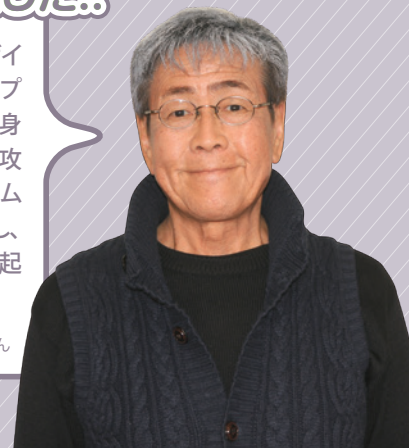


女性の
力で

良くなりました!!

ココノカージュは、女性デザイナーとプランナーの新たなプロジェクト。今までの受け身だった事業形態から、自ら攻める武器として独自のアイテムを開発。これらをブランド化し、会社の中で女性ならではの起業を促す新たな事業です。

デジタルソリューション代表 筒井安正さん





起業支援で
羽ばたく女性

●県内企業の実践事例●

「こんなものが欲しかった」に応える 生活者視点のビジネス



ミシンスペースの時間貸しや初心者向けの縫製教室も実施している。



商品は水玉模様が中心。大阪で買い付けているおしゃれな生地も人気の理由だ。

カラーショップ
Polka-Dot (ポルカ・ドット)

滋賀県草津市南草津5丁目7-1
<http://polkadot.shiga-saku.net/>

業種

オリジナル布小物の販売
ミシンの時間貸し
(店舗でのレンタル)

住宅街の中で可愛い水玉模様の縫製品がディスプレイされている住居が目にとまる。自宅の一角で手作りの布小物を販売する「Polka-Dot (ポルカ・ドット)」だ。

若い頃から「自分のお店を開きたい」と思っていた代表の佐々木仁美さん。だが仕事や出産・育児でなかなか実現に踏み切れなかったという。子どもが小学校に入り、子育てに一段落がついた2013年、ハローワークで知ったテクノカレッジ草津の服飾デザイン科に入校。縫製についてしっかり学べる内容で、これが転機となった。同年12月に知人に紹介してもらった税理士と相談しながら経営計画を立て、滋賀県産業支援プラザの創業補助金を活用して、住居の1階部分を商品販売兼ミシン貸しスペースに改装。「Polka-Dot」がスタートした。

保育園や幼稚園で使う給食袋や体操着入れは、園ごとにサイズが決まっていて市販のものでは対応できないため自ら商品を考案。また、個別のオーダーに対応することで、ミシンや縫い物に慣れていない保護者の負担を軽減し「こんなものが欲しかった」を実現。顧客からの高い満足度を得ている。

「お客様が商品を手にとると笑顔になってくれたり、褒めてもらえるのがとてもうれしい。自分が認められていると感じることが励みになっています。」と今の仕事のやりがいをうれしそうに語る。

今では大阪の百貨店でも販売。今後は、ミシンの得意な地域の年配の方にパートとして働いてもらうなど、地域の人の働く場づくりにつなげていくことが目標だ。

起業・創業をめざす方をバックアップ
公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ

自分で何かを成したいという自己実現や、自分が見聞きした困りごとを解決するために起業を考える女性が増えてきています。滋賀県産業支援プラザでは、インキュベーション・マネージャー（起業支援者）が様々な相談を受け、アドバイスを行っています。

- ▶ SOHOビジネスオフィス等の施設の提供
- ▶ 起業家女子育成塾
- ▶ ビジネスカフェ「あきんどひろば」(フリーに参加できるセミナー4会場で開催) など

お気軽に
ご相談ください。

詳しくは

(公財) 滋賀県産業支援プラザ
<http://www.shigaplaza.or.jp/>

女性の
力で

頑張ってます!!

あったらいいなを形にしたら、同志がたくさん! 自宅で作れない方や、作りたいけどミシンを買うのは…という方もいます。そんな悩みに応えたい! 私の行動で誰かが助かるなんて、やりがいのある毎日です!

代表 佐々木仁美さん



わたしのチャレンジ

エフエム クラック
脱サラ女子二人組 **[fm craic]**

滋賀県湖南市高松町1-2
<http://www.fmcrac.com/>

●フェイスブックもやっています!!



2010年、都会での会社員生活から一転、郷里滋賀で農業の世界に飛び込んだ三峰教代さんと佐々木由珠さん。非農家出身の2人は先輩農家の方たちに応援されながら伝統野菜「弥平とうがらし」の生産と商品開発に励んでいる。脱サラし、農業や起業に挑戦した経緯や想いをうかがいました。

世界を歩いて感じた農業の魅力。非農家出身ならではの思い切り!!

私たちは元々知り合いだったわけではなく、それぞれの会社を退職して入校した、滋賀県の公共職業訓練で農業を学べる「アグリ・ファーム科」で出会いました。

私たちは外資系企業や旅行代理店に勤めていて、世界に通じる仕事に面白みを感じていましたが、もっと人が生きる根本に関わる仕事をしたい、食べ物を自分で作れたら強いと考えていましたので、「農業で起業」を思い立ちました。今思えば非農家出身ならではの怖いもの知らずの挑戦でしたが、「大規模農業は無理でも自分たちにしかできない農業がある」という思いが背中を押しました。

地場野菜なら付加価値が付けやすいだろうと、自分たちに合った野菜を探して、最初は、湖南市の地場野菜である「下田なす」を生産しようと思いました。その時、先輩農家の方から「なすと一緒に植えたら、何かと便利だよ。手間もかからないし」と、同じく地場野菜の「弥平とうがらし」を教えていただきました。これまで地元では、なす農家さんが漬物を作るために植えている程度だったのですが、その鮮やかな色と可愛い形、鷹の爪の倍辛いという強烈な個性…「これは、いける!」運命の出会いでした(笑)

Profile

み た か ゆ き よ
三峰 教代さん

滋賀県湖南市出身。外資系企業を退職後、滋賀県の公共職業訓練校で佐々木さんと意気投合。自由なアイデアで新商品の開発・企画を担当する。

Profile

さ さ き ゆ ず
佐々木 由珠さん

滋賀県草津市出身。旅行会社勤務を経て、2009年退社。「もっと生活の根幹になる仕事を」と農業での起業にのりだす。広報、営業の役割りを担当する事が多い。



弥平とうがらしを練り込んだケーキやクッキーも。ピリリとした刺激がクセになる。

カラット
CARAT PJ
滋賀・女性・元気 プロジェクト

**「CARAT滋賀
・女性・元気プロジェクト」
に取り組んでいます。**

このプロジェクトは、滋賀の地域・経済の活性化に向け、県の施策として働く場への参画や起業、管理職の増加に向けた支援を中心とした女性の活躍推進を部局横断で重点的に取り組むものです。女性の元気が滋賀の元気につながり、女性も滋賀も宝石のように輝くという意味を込めて、「CARAT (カラット)」と名付けました。

女性のライフステージに応じた切れ目のない細やかな支援

キャリア
形成支援

仕事と
子育ての
両立支援

進路選択

キャリア
ビジョンが
描ける

就職





オフィス街から一転、2,975㎡(三反)の畑が勤務先。気負わない2人らしいスタイルで仕事をこなす。

自分たちのアイデアで“弥平とうがらし”を、そして、“滋賀”をブランド化

弥平とうがらしは一般的な農作物よりも雨風に強く育てやすい。保存も効き、場所もとらない。さらに、白菜のように重くもないので、私たち2人で作って、加工するには最適な野菜でした。栽培、収穫、加工、瓶詰、商品開発、営業、食べ方の提案まで2で行い、販売の方も少しずつ軌道に乗ってきました。会社員時代に培った商品企画力やプレゼンテーション力を活かして、世の中に“弥平とうがらし”をアピールしてきたおかげで、注目度も高まり、滋賀県からは若手農家に贈られる「農林水産奨励賞」もいただきました。

私たちは、東京、大阪で「滋賀」と言っても通じない、滋賀で作ったものが京都の土産物になっているという歯がゆい思いをしてきたので、“弥平とうがらし”の知名度アップが“滋賀県”のブランド力を高めることに繋がっていくと期待しています。今後も新たな弥平とうがらし商品の開発やさらなる販路拡大、そして弥平とうがらし以外の地場野菜の商品プロデュース等に挑戦していきたいと思っています。



鮮やかなオレンジが可愛い、弥平とうがらし。

技術の向こうに未来がある!! テクノカレッジ(米原、草津)のご案内

「テクノカレッジ」(滋賀県立高等技術専門校の愛称)では、企業や地域ニーズに応える確かな知識や技能・技術の習得を目指した実践的な訓練を行い、企業で通用するスペシャリストの育成を行っております。

【内容】 製造系、建築系、事務系、販売系など幅広い訓練を実施しております。服飾デザイン、住宅リフォームなどのものづくり分野の訓練においても多くの女性が受講され、活躍されています。

【対象者】 求職者の方で、知識や技能・技術を身につけ再就職を目指す方、新たな分野に挑戦をしたい方など

【申込方法】 最寄りのハローワークで、相談のうえ申込みください。

詳細は、滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課職業能力開発担当 までお問い合わせください。

TEL:077-528-3755 FAX:077-528-4873 E-mail:fe0003@pref.shiga.lg.jp

女性の起業を支援するための融資制度のご案内 ~開業資金(女性創業枠)~

滋賀県では、女性が起業する際に必要となる資金の調達にご利用いただける融資制度を設けています。ぜひご利用ください。

資金の特徴

- ◆開業前から開業後5年未満の方まで広くご利用いただけます。
- ◆信用保証料を引き下げ、借入の際の負担を軽減しています。

- 融資限度額 1,000万円
 - 融資利率 年1.55%(変動の可能性あり)
 - 受付機関 各商工会議所・各商工会・滋賀県産業支援プラザ
- ※必ず保証協会の保証をつけてください。

詳細は、滋賀県商工観光労働部中小企業支援課金融支援担当 までお問い合わせください。

TEL:077-528-3732 FAX:077-528-4871 E-mail:fb00@pref.shiga.lg.jp

konan marche!

湖南省三雲にある「こなんマルシェ」は、地元の野菜や工芸品など湖南省のこだわり産品を集めたお店。弥平とうがらしを使った調味料や焼き菓子などはこちらで購入できる。

【こなんマルシェ】
電話：0748-72-5275
営業時間：10時～19時



商品開発、試作品は私が料理することが多いです

私は試食して意見を出したり、聞いて来たりします!

ワーク・ライフ・バランスの推進

女性活躍に向けた企業の取組促進

女性の管理職が増える

キャリア・アップ

キャリア・アップへの支援

結婚・出産・育児

仕事と子育てが両立できる

継続就労・再就職

起業

様々な分野で起業ができる

女性リーダー等の交流促進

お世話になりました
離職

再チャレンジができる

再チャレンジへの総合的支援

多様な活躍への支援

起業への多面的なサポート



働きたい!キャリアアップしたい!
そんな女性のチャレンジを応援する窓口です!

滋賀マザーズジョブステーション

子どもがいるんだけど
どうしたら働けるの?

子育てが
一段落したから
もう一度働きたい!

マザーズ就労支援相談コーナー

- お仕事に関する悩みを専門のキャリアカウンセラーがアドバイス
- 保育園への入所方法など、保育や子育ての相談と情報提供
- パソコンによる職業適正診断
- 就労支援に関する無料セミナーの受講
- 履歴書や職務経歴書の書き方、面接の受け方のアドバイス 等

ハローワーク職業相談(マザーズ)コーナー

- ハローワークの相談員による子育て中の方に対する職業相談や紹介
- 検索機での求人情報の閲覧

※雇用保険、職業訓練の相談等は、居住地の管轄ハローワークでお願いします。

母子家庭等就業・自立支援センター

- ひとり親の方への再就職、転職、訓練、講習会など就業に関する相談や情報提供

※草津駅前は、毎週火曜日のみ



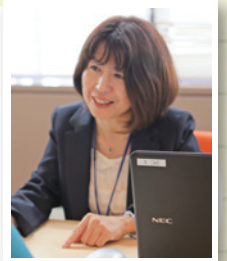
マザーズジョブステーション受付風景



マザーズジョブステーション託児室風景

お気軽に何度でもご相談ください!

結婚や出産を機に仕事をやめた方が再就職を目指すときに強い味方となるのが、「マザーズジョブステーション」です。再就職する際に必要となる支援をワンストップで受けられる仕組みになっています。無料託児もありますので、小さなお子さま連れのママにとって、とても相談しやすい環境になっていますよ。ぜひお気軽に利用してください。



滋賀マザーズジョブステーション
マザーズ就労支援相談コーナー
キャリアカウンセラー
山下 弓さん

利用者の声

身近に相談できる人がいなくて相談に来ました。自分の思いを言葉にすることで、考え方の方向性が整理できました。

幼稚園の時間に合わせた働き方ができる求人を紹介していただき、無事就職することができました。

無料託児室があるので、安心して子どもを連れて行くことができました。

滋賀マザーズジョブステーションの窓口は、近江八幡と草津にあります。各ステーションの「総合受付」へお越し下さい。

受付時間 9:00~16:00

ホームページ <http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/mjs/mja-top.html>

検索

事前予約可能

近江八幡 TEL 0748-36-1831

近江八幡市鷹飼町80-4
滋賀県立
男女共同参画センター内

無料駐車場有

【休所日】
月曜日・祝休日の翌日
年末年始
(ハローワークマザーズコーナーは
土日・祝日も休所)

草津駅前 TEL 077-598-1480

草津市大路1-1-1
JR草津駅東口直結
エルティ932・
ガーデンシティ草津3階

駐車場3時間
無料券を発行

【休所日】
土曜日・日曜日・祝日
年末年始

※←は、琵琶湖側からの駐車場進入路